

# 平成29年度第2回宇都宮市まちづくり交付金評価委員会 議事録

日時：平成30年1月30日（火）午後1：30～  
場所：宇都宮市役所 14階 14C会議室

## 出席委員

委員（5名）  
山島 哲夫 委員  
三橋 伸夫 委員  
那須野 公人 委員  
塩野谷 ふじ子 委員  
羽石 潔 委員

臨時委員（2名）  
稲葉 豊 委員  
岩戸 肇 委員

## 欠席委員

なし

## 出席幹事

幹事（6名）  
若狭 康伴 幹事  
黒須 孝宏 幹事  
渡辺 尊之 幹事  
阿部 紀夫 幹事  
高橋 裕司 幹事（代理出席：金田 昌幸）  
松本 朝行 幹事

## 事務局

事務局（5名）  
高橋 克也 書記  
中村 正基 書記  
高久 考 書記  
赤羽 順子 書記  
田崎 悟 書記

## 高橋書記

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから「平成29年度 第2回宇都宮市まちづくり交付金評価委員会」を開会いたします。

今回は、雀宮地区の都市再生整備計画の概要説明と現地見学を行い、整備後の状況をご確認いただきました。今回は、都市再生整備計画の目標の実現状況等についての評価と今後のまちづくりの方策について、ご審議をお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、本日の会議資料について確認させていただきます。

- (1) 次第
- (2) 第1回評価委員会でのご質問について
- (3) 都市再生整備計画 雀宮地区
  - ① 事後評価の概要 (A3版)
  - ② 事後評価の概要 (A4版パワーポイント資料)
  - ③ 事後評価方法書
  - ④ 事後評価シート (原案)
- (4) 第1回評価委員会 議事録
- (5) 都市再生整備計画 雀宮駅周辺地区
  - ① 事後評価シート (平成24年3月)
  - ② フォローアップ報告書 (平成25年7月)

以上5点となります。

不足しているものはございませんでしょうか。

ここで、幹事であります都市計画課長の高橋幹事ですが、本日、所用がございますので、代理として課長補佐の金田が出席しております。

この後、議事に入りますので、前回に引き続き、議事の進行を山島委員長をお願いいたします。

## 山島委員長

それでは、次第に従って進めてまいります。

忌憚のないご意見をいただきながら、円滑に会議を進め、明瞭な評価をしたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

本日の会議の議事録へ署名する委員ですが、当委員会運営要領第3条により、指名いたします。

塩野谷委員と羽石委員の両名をお願いしたいと思います。よろしくようお願いいたします。

ここで、本日の会議の成立について、事務局より報告をお願いします。

**中村書記** 本日の会議でございますが、委員は総数7名で、全員のご出席を頂いておりますので、当委員会設置要綱第8条の『委員会は委員の過半数の出席をもって開催する』という定足数を満たしておりますので、会議の成立をご報告いたします。

**山島委員長** 続きまして、会議の公開と傍聴者数について、事務局より報告をお願いします。

**中村書記** はじめに、会議の公開についてですが、本日の会議については、宇都宮市情報公開条例に規定する非公開情報はありませぬので、公開となります。  
次に、傍聴者数についてですが、傍聴者はございません。

**山島委員長** それでは、議事に入りますが、本題の事後評価の前に、前回の会議で塩野谷委員と三橋委員からご質問のあったことについて、ご説明をお願いします。

**松本幹事** お配りした資料の「第1回評価委員会でのご質問について」をご覧ください。

はじめに、塩野谷委員からのご質問で「雀宮中央小学校の児童数の増減」につきましてお答えします。平成29年における児童数は547人で、10年前の児童数と比べますと99人減っております。なお、参考として、若松原中学校の生徒数についてですが、平成29年における生徒数は651人で、同じく10年前の生徒数と比べますと34人減っております。

次に、三橋委員からのご質問で「雀宮中央小学校と若松原中学校における現在の余裕教室数」につきましてお答えします。教育委員会に確認したところ、雀宮中央小学校と若松原中学校において、両校ともに現在の余裕教室はないとの回答でありました。説明は以上です。

**山島委員長** それでは、雀宮地区の都市再生整備計画の事後評価原案について、審議を行いますので、所管部署からの説明をお願いいたします。

**黒須幹事** 道路建設課の黒須でございます。

それでは、雀宮地区の事後評価について着座にてご報告させていただきます。

パワーポイント資料の2ページをご覧ください。

まず、「地区のまちづくりの経緯」について、ご報告いたします。

第1回評価委員会では、都市再生整備計画に基づく当地区の事業概要をご説明させていただきましたので、第2回事後評価委員会では、これまで当地区のまちづくりの経緯として、都市再生整備計画の変更をこれまでに2回行っておりますことから、その変更内容について報告させていただきます。

パワーポイント資料の3ページをご覧ください。

まず、当地区の当初計画は平成24年3月であります。道路事業で「市道704号線」、「市道713号線」、高次都市施設として、「地域コミュニティーセンター」、地域創造支援事業として、「魅力ある景観づくり事業」、「雀宮地区市民センター改修事業」を都市再生整備計画に位置付け、国の採択を受けました。

パワーポイント資料の4ページをご覧ください。

第1回変更は平成25年2月でございます。

事業規模の変更として、道路事業の市道713号線と地域創造支援事業の雀宮地区市民センター改修事業の2つであります。

まず、市道713号線ですが、関連事業である国道4号や県道安塚雀宮線の整備が進捗し、国道4号に接続する交差点部分の施工が可能になったことや宇都宮市立雀宮中央小学校の用地を道路用地として確保が出来たことにより、整備する道路延長を変更いたしました。

次に、雀宮地区市民センター改修事業ですが、こちらは、当初予定しておりました改修事業に合わせ、利用者の利便性の向上を図るため、老朽化しておりました地区市民センターに隣接した図書室を、地区市民センター内に移し、その跡地を駐車場として整備したことにより、改修事業の規模を変更いたしました。

パワーポイント資料の5ページをご覧ください。

第2回変更は平成26年3月でございます。

こちらは、市道713号線の整備にあたり、整備内容や建物等の移転補償に係る費用等の事業内容の精査により、事業期間及び事業費を変更しております。

なお、これら2回の変更に伴う、交付期間の変更や対象エリアの変更はございませんでした。

以上で、「地区のまちづくりの経緯」のご報告を終わります。

パワーポイント資料の7ページをご覧ください。

続いて、都市再生整備計画（雀宮地区）に関する「事後評価」について、ご報告をいたします。「成果の評価」、「効果発現要因」、「実施過程の評価」の順にご報告をいたします。

まず、「成果の評価」と「効果発現要因」について、一括してご報告いたします。

お手元の事後評価の概要、「(2) まちづくりの目標」、「(3) 目標の達成状況」、「右上のグラフ」を併せてご覧ください。

パワーポイント資料の8ページをご覧ください。

「成果の評価」につきましては、都市再生整備計画に記載した「目標を定量化する指標」の達成状況や、これ以外に事業による効果が発現しているものを「その他の指標」として、その達成状況の評価いたします。さらに、定量的に評価できない定性的な効果が発現している場合についても評価するものであります。

パワーポイント資料の9ページをご覧ください。

「効果発現要因」につきましては、数値目標等の成果の評価だけでなく、効果をあげた成功要因等について、今後のまちづくりに活かすために分析するものであります。

パワーポイント資料の10ページをご覧ください。

都市再生整備計画の事後評価におきましては、目標を定量化する指標の達成度を、評価判定基準の「○、△、×」で判定し、検証いたします。評価の基準につきましては、評価値が目標値を上回った場合には「○」、評価値が目標値には達成していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合は「△」、評価値が目標値に達成しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合は「×」と判定することになっております。

また、評価が「△、×」でも、合理的な理由により1年以内の間に目標を達成することが確実な場合は、「達成見込み」として評価できることになっております。

パワーポイント資料の11ページをご覧ください。

まず、指標1の「雀宮駅の利用者数」であります。この指標につきましては、雀宮駅の1日平均の乗降客数により、地区の「目標1」であります「JR雀宮駅周辺の基盤整備の推進により、地域の安全性・利便性を高め、交通結節機能の強化を図る。」を定量的に表す指標として設定しております。

J R東日本が公表する1日当たりの平均乗降客数は、平成22年の時点で6,600人でした。今回の事業により、交通の安全性やまちの魅力などが高まることから、駅利用者は増加すると想定し、平成19年度から平成23年度に実施した都市再生整備計画事業の目標値であった7,150人を引続き目標値として設定いたしました。評価値は、平成28年の乗降客数の公表結果9,230人を使用しております。

お手元の事後評価の概要をご覧ください。

駅利用者数の効果発現要因といたしましては、西口駅前広場や国道4号、県道雀宮停車場線などの道路整備が進捗したことで、駅へのアクセス性が向上したことが要因となり、目標値との比べ2,080人の増という結果になりました。

目標達成度につきましては、目標値を上回っており「○」としております。

パワーポイント資料の12ページをご覧ください。

次に、指標2の「まちの快適な空間に対する満足度」であります。この指標につきましては、地区の「目標2」であります「地区の玄関口である駅周辺において市民や来訪者の快適性を高める良好な景観形成を図る。」を定量的に示す指標として設定しております。

評価値といたしましては、平成23年度に実施した「市政に関する世論調査」の設問「機能的で魅力ある都市空間の形成」における雀宮地区在住者の満足度を使用しております。

平成23年度の調査では満足度31.0%でしたが、西口駅前広場や県道雀宮停車場線などの電線地中化等の景観形成が図られることにより、地区住民や駅利用者等の「駅周辺の快適な空間への満足度」が見込まれることから、従前値の約10%増加を目指し目標値を41.5%と設定しました。

結果としましては、平成28年度に実施した「市政に関する世論調査」の結果による評価値は42.5%でございました。お手元の事後評価の概要をご覧ください。

効果発現要因といたしましては、西口駅前広場や県道雀宮停車場線の一部における電線地中化等の景観形成や市道713号線が拡幅整備されたことにより、目標値に比べ満足度は1.0%の増という結果になりました。

目標達成度につきましては、目標値を上回っており「○」としております。

パワーポイント資料の13ページをご覧ください。

次に、指標3の「五代若松原地域コミュニティーセンター

等年間利用回数」であります。この指標につきましては、地区の「目標3」であります「地域活動の拠点施設の整備により地域を支えるまちづくり活動を促進する。」を定量的に示す指標として設定しております。

こちらの従前値は、雀宮地区市民センター等における平成22年度の利用回数 年3,700回であります。今回の都市再生整備計画事業により、五代若松原地域コミュニティーセンターが新たに整備されることで、地域活動がより活発となり、地域コミュニティーセンター等の利用回数の増加が見込まれることから、従前値の約10%増加を目指し、目標値を年4,100回と設定しました。

評価値といたしましては、平成28年度の五代若松原地域コミュニティーセンターと雀宮地区市民センターの利用回数である年4,256回を使用しております。

お手元の事後評価の概要をご覧ください。

効果発現要因といたしましては、五代若松原地区にまちづくり活動の拠点となる地域コミュニティーセンターが新たに整備され、雀宮地区市民センターにおいても、バリアフリー化等を実施したことにより、各施設の利用環境が向上し、雀宮・五代若松原の両地区におけるまちづくり活動がより活発となったことから、目標値に比べ、利用回数は年156回の増という結果になりました。

目標達成度につきましては、目標値を上回っており「○」としております。

パワーポイント資料の14ページをご覧ください。

次に「定性的な効果発現状況」をご報告いたします。

お手元の事後評価の概要、「(3) 目標の達成状況 その他」を併せてご覧ください。

1つ目に、関連事業であります国道4号をはじめ、県道雀宮停車場線などの道路整備が進捗し、駅周辺における高質な空間づくりと景観形成が実現されつつあります。

2つ目に、都市再生整備計画事業による雀宮駅周辺の都市基盤や公共施設が整備されたことを契機に、それらの施設を活用した様々なイベントが開催され雀宮地区をはじめとする市南部地域における住民主体のまちづくり活動や、住民間の交流の活性化が図られております。

都市再生整備計画事業により様々な事業を行ったことで、数値には表現されていない事業への高い評価が得られていると考えております。

以上で「成果の評価」と「効果発現要因」のご報告を終わ

ります。

パワーポイント資料の15ページをご覧ください。

次に「実施過程の評価」についてご報告いたします。

お手元の事後評価の概要、「(4) 実施過程の評価」を併せてご覧ください。

これにつきましては、都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況、また、位置づけた事業が実施できたかどうかを評価するだけでなく、結果に至るまでの評価の実施過程を検証するものであります。検証する項目は、「モニタリング」、「住民参加プロセス」、「持続的なまちづくり体制の構築」の3つであります。

まず、「モニタリング」につきましては、事業の進捗状況の確認や指標の達成状況を確認し、事業の確実性向上を図る為に実施する点検作業でありまして、交付期間中に任意で行い、その実施により事業内容の見直しや実施方法の工夫・改善等を行うものであります。当地区におきましては、指標1がJRのホームページで数値を確認でき、また、指標2は「市政に関する世論調査」、指標3は「コミュニティーセンター等の利用回数」を確認する数値であり、今年度の事後評価の作業の中ですべての数値を把握できたことから、実施はしております。

次の「住民参加プロセス」につきましては、事業計画や整備に対する住民の理解や協力を得るために行うイベントや説明会等の実施状況であります。当地区では、地元組織であります「雀宮地区まちづくり推進協議会」「五代若松原地区まちづくり推進協議会」との連携を通じて事業を実施してまいりました。交付期間中、まちづくり推進協議会において、事業の進捗状況や整備に伴う道路の通行制限など、生活に影響する部分について随時周知報告を行い、また事業や整備についての意見なども収集してまいりました。こうしたプロセスにより、現在まで円滑な事業の推進がなされております。さらに、定性的な効果発現にもありましたように、地域コミュニティーセンターの開設などに併せまして、地元住民団体が主催したイベントが開催されるなど、地元住民の主体的で積極的な参加が見られます。

次の「持続的なまちづくり体制の構築」につきましては、当地区におきましては、平成15年4月に組織されました「雀宮地区まちづくり推進協議会」と「五代若松原地区まちづくり推進協議会」がございます。今後とも、地域の主体的なまちづくりが展開されるよう、支援していきたいと考えており



ます。

以上で「実施過程の評価」のご報告を終わります。これで事後評価までの一括したご報告を終わりたいと思います。

パワーポイント資料の 16 ページをご覧ください。

次に、「今後のまちづくり方策」についてご報告いたします。

お手元の事後評価の概要、「(5) まちの課題の変化」,  
「(6) 今後のまちづくり方策」を併せてご覧ください。

都市再生整備計画におきましては、事業の効果を持続させるため、事業終了後におけるまちづくりの方策についても検討し、それらの実現に向け取り組むことにしております。いわゆる PDCA サイクルにおける A の「改善」であり、今回の事業で得た教訓や改善点を活かしながら、これからのまちづくりの基本的な考え方を検討する P の「計画」につなげていく重要なプロセスと言えます。

事業によりまして達成されたことと、解決されずに積み残された課題、そして、事業によって発生しました新たな課題を整理し、改善策を含む今後のまちづくり方策を策定いたします。

パワーポイント資料の 17 ページをご覧ください。

まず、「まちの課題の変化」について整理いたしました。

1 つ目に、今回の事業により、地区住民の生活や生涯学習の活動を支える基盤が整備されたことにより、地域の核となる拠点が形成されました。

2 つ目に、新たな五代若松原地域コミュニティーセンターの整備や雀宮地区市民センターのバリアフリー化等を実施したことにより、地域活動を支える拠点の利便性や安全性の向上が図られ、地域主体のまちづくり活動が着実に増加しております。

3 つ目に、雀宮駅周辺地区における交通結節機能の強化を図るため、駅周辺の道路整備において、市道 713 号線が完了し、そのほか、国道 4 号をはじめ、県道雀宮停車場線、市道 704 号線などの道路整備が着実に進捗しております。

パワーポイント資料の 18 ページをご覧ください。

最後に、以上のことを踏まえ、「今後のまちづくり方策」を策定いたしました。

この都市再生整備計画の大目標である「地域交流拠点である雀宮駅周辺地区の交通結節機能の強化と地域活動が活発な魅力あるまちを形成する。」は、今後も継続して事業を行っていくうえで大きな方向性・柱となるものであります。先

ほどの「まちの課題の変化」を踏まえまして、今後、取り組むべき重点的なまちの方策を3つ設定しました。

まず1つめの方策は「地域核拠点となる施設の一層の利用促進」でございます。ハードとソフトが両輪となったまちづくりを進めるためには、今回の事業で整備したハードを有効に使っていかねばならないと考えております。

具体的なものといたしましては、地域コミュニティーセンター、地区市民センターにおけるイベントやまちづくり活動、地域活動等に利用してもらえるような活動の場の提供でございます。また、こうした活動に対する支援も持続的に実施してまいります。

2つめの方策は「住民のまちづくり活動の支援」でございます。1つめの方策で挙げましたように、ハードとソフトが両輪となったまちづくりを続けていくためには、地元住民が主体となった取り組みが欠かせません。今回新たに整備した地域コミュニティーセンターなどを拠点として、活力ある地域のまちづくり活動を将来にわたって続けていく必要があります。

具体的なものといたしましては、地域住民組織等との連携・調整を図りながら、地域が一体となったまちづくり活動に対して、事業実施に向けたサポートや担い手の育成など、様々な形で支援を行ってまいります。

3つめの方策は「駅周辺の基盤施設の継続的な整備の実施」でございます。雀宮駅周辺地区の交通結節機能の強化を図るため、国道4号や県道雀宮停車場線など駅周辺の道路と一体となった円滑な交通ネットワークを構築する必要があります。具体的なものといたしましては、雀宮駅へのアクセス性や交通安全性・快適性の向上が図られる、市道704号線の着実な整備を進めてまいります。

最後になりますが、今回の事業の成果を踏まえ、駅周辺における今後のまちづくりのあり方や方向性について、今後も継続的に検討してまいります。

以上で「今後のまちづくり方策」のご報告を終わらせていただき、全体のご報告とさせていただきます。ご審議のほど宜しくお願いいたします。

**山島委員長**

説明が終わりました。委員の皆様よりご質問やお気づきの点などございますか。

**三橋委員**

指標3について伺います。五代若松原地域コミュニティーセンターが平成26年度にオープンしましたが、雀宮地区市

民センターと五代若松原地域コミュニティーセンターの利用回数の内訳を教えてください。平成 28 年度の内訳で結構です。

整備直後は、雀宮地区市民センターから五代若松原地域コミュニティーセンターへ利用者が移り、雀宮地区市民センターの利用者が一時的には減るかもしれませんが、その後、2 施設合計の利用者数が増えていけば、新しい利用者の掘り起こしにつながったと読み取れると考えられます。

また併せて、指標 3 の値が平成 25 年までは、雀宮地区市民センターの利用者が 3 割程度減と、かなり減っていますが、一時的に利用制限を行ったなど、その原因を教えてください。

**渡辺幹事**

まず、利用回数の内訳ですが、平成 28 年度において、雀宮地区市民センターは 3,725 回、五代若松原地域コミュニティーセンターは 531 回であります。

次に、利用回数が減少した理由ですが、雀宮地区市民センターの改修工事に伴い、貸出できる部屋数や、駐車場を使用できる台数が減少したことによるものです。

**山島委員長**

ただいまご説明いただいた内容について、事後評価の概要の図 3 の注記とするなどして、減少の理由を記載した方がよいと思います。

工事前の利用回数は年 3,700 回であり、一時的に工事に伴い減少しているが、五代若松原地域コミュニティーセンターが完成し、全体としては利用回数が増えていることがわかるように、説明を加えてください。

**山島委員長**

他に、ご意見やご質問はいかがでしょうか。今後のまちづくりの方策については、この後に議論いたしますので、それまでの項目について、何かありますか。

**塩野谷委員**

事後評価シートの指標 1 の雀宮駅の利用者数について、効果発現要因の欄ですが、数値が上がった要因については、今回の西側の整備によるものだけでなく、この計画の前に行った東側の整備も相まっての効果だと思っておりますので、そのような内容を記載した方がよいと思います。

**山島委員長**

駅の利用者数は、電車通学している宇都宮工業高校の生徒がどの位なのかが、大きく影響しているのではないのでしょうか。宇都宮工業高校は、いつ頃できましたか。

**羽石委員** 平成 23 年 9 月 1 日です。

**塩野谷委員** 平成 28 年の雀宮駅の利用者数は、平成 24 年よりもかなり伸びていますので、工業高校の生徒ばかりではないと考えられます。

私自身、瑞穂野地区に住んでおりまして、雀宮駅東側に駐車場が整備され、とても便利になったので、電車で出かけるときには、雀宮駅を利用しております。週末は朝早く行かないと駐車場が満車で利用できないこともあり、多くの方が利用している状況です。

また、瑞穂野地区には平成 24 年より「みずほの愛のり号」という地域内交通が走っておりまして、雀宮駅までも利用が可能です。

高齢者や子育て世代の方を含む、地域の方が雀宮駅を利用して宇都宮駅まで行き、東西を結ぶ L R T を利用することができれば、宇都宮市全体を誰でも移動することができます。こうしたことから、雀宮駅が本市南部地域の中心となってきたことが、前回の東側の整備と、今回の西側の整備により相まって、もたらされた効果ではないかと考えます。

**山島委員長** 塩野谷委員からのご意見のとおり、雀宮地区は良くなってきており、これまで行ってきた事業が大きな効果を上げています。ここの表現は、もう少し前向きな表現にさせていただきたいと思います。

**羽石委員** 本日の会議に、前回の東側の整備の事後評価シートを添付していただきました。これを見ると、東側の整備直後は、目標を達成できない状況でしたが、今回の西側の整備を行ったことにより、目標を上回った状況であります。このような経過からも、東側の整備のことも触れておいた方がいいと思います。

**黒須幹事** 今回整備した市道 713 号線は西から東口に抜ける道路であり、駅東口を利用するために、こうした周辺道路の整備を行いましたことから、「周辺道路等の都市基盤整備」と記載いたしました。各委員からのご意見を踏まえ、「東西を結ぶ周辺道路の整備によって」のような表現を用いて修正させていただきます。

**山島委員長** 他にございますか。

**羽石委員**

「駅の利用者数」についてですが、雀宮駅の近隣周辺の利用客が増えることを想定して目標を立てたと思いますが、評価は一日当たり 9,230 人と大幅に増えています。これは、これまで行ってきた整備によって、雀宮という、ひとつの地域の駅ではなく、より広域のエリアに捉え、宇都宮市の「南の玄関口」としての位置づけになったことだと考えられますので、これは高く評価すべきかと思います。

今後も地域としてのまちづくりだけでなく、市の玄関口となるようなまちづくりも行っていただきたいと思います。

**山島委員長**

これは、今後のまちづくりの方策で触れた方がいいと思います。他にいかがでしょうか。

**岩戸委員**

雀宮駅の東口におきまして、真岡市方面行きの東野バスが発着していますが、バスの利用者が少ないようです。もう少し利用が増えるような検討をしてはいかがかと思います。

**山島委員長**

これも、羽石委員からのご意見にもあったように、広く宇都宮市の「南の玄関口」としてのアクセス等についてのご意見ですが、今後のまちづくりの方策において「継続して検討していく」とありますので、そこに含めて検討していただきたいと思います。

那須野委員はいかがでしょうか。

**那須野委員**

満足度の指標ですが、この整備計画のためだけに、調査したものではないということではよろしいでしょうか。

**黒須幹事**

この整備計画のためだけではありません。

**那須野委員**

この整備計画のためだけであれば、もう少し高い数値となるかと思います。また、まだ完成していない部分もあり、それも影響していると感じました。

**山島委員長**

市全体の方を対象に、定期的に行っている満足度調査の中より、この地域の方々のデータを抽出したものであるということですね。

稲葉委員はいかがでしょうか。

**稲葉委員**

4年程前のことですが「雀宮地域ビジョン」を作成するときに、アンケート調査を行いまして、雀宮のいいところを挙

げていただきました。周囲に緑が多い、近くに大学病院がある、住み良い、災害や犯罪が少ないなど、便利に、安全・安心に暮らせるという意見が多くありました。そうした意見を取り入れながら、「雀宮地域ビジョン」を作りました。

**山島委員長**

他に、ご意見やご質問はいかがでしょうか。今後のまちづくりの方策については、この後に議論いたしますので、それまでの項目について、以上でよろしいでしょうか。

それでは、塩野谷委員などからご指摘がありました指標1の効果発現要因について、修正をお願いいたします。

次に、「まちの課題の変化」と「今後のまちづくりの方策」について、議論したいと思います。

はじめに「まちの課題の変化」についてです。これまでの委員からの意見であります、「利用者が増えているということは、近隣周辺からの利用者だけでなく広範囲からの駅利用者が増えている」と考えられることから、課題として「さらに利用者を増やすにはどうしたらよいか」を検討するということであったと思われま

す。現在、記載されているものには、課題の記載が無いようですので説明をお願いいたします。

**渡辺幹事**

一つ目ではありますが、「地域の核となる拠点が形成されたことから、一層の施設の利用促進を図る必要がある」とのように、今後のまちづくりの方策につながるように、修正させていただきます。

**山島委員長**

二つ目はいかがでしょうか。

**渡辺幹事**

「引き続き支援に取り組む必要がある」という表現が考えられます。

**塩野谷委員**

二つ目についてですが、バリアフリー化については、高齢者に限らず、ベビーカーを利用している子育て世代にとっても、とても利用しやすくなることから、幅広い年齢層の方々が利用しやすくなると、視点を広げた方がよいと思います。

**山島委員長**

塩野谷委員からのご意見を受けまして、最後に「幅広い年齢層の方々に利用してもらえるようにPRする」や「利用してもらえるように努める必要がある」などと記載するよう、修正をお願いいたします。

**三橋委員** 駅の利用者がかなり増加している理由の一つとして、雀宮地区や五代若松原地区へ、住宅が新築されるなど、転入者の方が多いのかと思います。稲葉委員、岩戸委員、いかがでしょうか。

**岩戸委員** 確かに多いです。五代若松原地区は多くの畑が住宅に変わりました。一か月間パトロールしないと、もう家が建っているというぐらい、この地区は人口が増えています。

若干、話がずれてしまうかもしれませんが、そうした転入者に対して自治会加入をどうしたらよいか、という課題も出てきています。

**三橋委員** 道路や学校、コミュニティーセンターなどの公共施設が整備されると、若い人達が多く転入してきます。そうすると、転入者の方々にいかに地域に溶け込んでもらうか、どのようにして地域の活動に参加してもらうかが課題となります。

こうした課題の変化に対し、今後のまちづくりの方策として、もう少し記載した方がよいと思います。

**山島委員長** 三橋委員のご意見を受けまして、課題の変化の二つ目のところに、まちがよくなったことにより転入者も増えていることから、転入者も地域に溶け込み、まちづくり活動が将来にわたって続くよう、「住民間の交流をとおして、担い手の育成やまちづくり活動に対する支援を行っていく」などと記載するよう、修正をお願いしたいと思います。

その他にご意見等がありますか。よろしいでしょうか。

それでは、今後のまちづくりの方策に入ります。

**三橋委員** 二つ目について、「事業実施に向けたサポート」とありますが、「事業」とは何を指していますか。

**阿部幹事** 「地域が一体となったまちづくり活動」を指しております。

**山島委員長** そうすると、ここは「地域が一体となったまちづくり活動に対するサポート」と記載するよう、修正をお願いします。

また最後に、先ほどの「まちの課題の変化」でご意見があったことを受けて、「転入者を含め、幅広い世代の方々が参加できるように支援していく」と記載するよう、修正をお願いします。

それでは、三つ目について、いかがでしょうか。

一行目については、「市道 704 号線の整備を着実に進めていく。これにより、雀宮駅へのアクセス性や交通安全性・快適性の向上が図られる」と記載すると、よりわかりやすいと思います。

二行目については、先ほどのご指摘を受けて、南の玄関口として、重要性が増している現状があり、よって近隣周辺からのアプローチだけでなく、広域なエリアからもアプローチしやすいように、「周辺道路と一体となった交通ネットワークの構築に向け、検討していく」と記載するよう、修正をお願いしたいと思います。

**三橋委員** 二行目についてですが、「継続的に検討していく」とありますが、主語を記載した方がよいと思います。

**山島委員長** 「住民の様々な意見を踏まえながら、継続的に検討していく」と記載したらいかがでしょうか。すると主語が行政になると思います。

それでは、これまでの議論を踏まえて修正し、最終的な内容の確認や調整は、委員長に一任でよろしいでしょうか。

**各委員** 異議なし

**山島委員長** 議事はこれで終了したいと思います。  
ありがとうございました。  
続きまして、その他、事務局より何かございますか。

**中村書記** 今後の予定ですが、本日の皆様からいただいたご意見を踏まえ、必要な修正を行ったうえで事後評価シートを国へ提出いたします。

その後、必要に応じて国からの指導・助言がありますので、公表は年度末の 3 月になる予定です。

また、本日の議事録につきましては、作成次第、委員の皆様にご確認いただきますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

**高橋書記** 最後に幹事の都市整備部 市街地整備担当 副参事の若狭より、ご挨拶を申し上げます。

**若狭幹事** 都市整備部の若狭でございます。  
二回にわたり開催しました、まちづくり交付金評価委員会



の終了にあたり、一言、お礼のご挨拶を申し上げます。

山島委員長をはじめ、各委員の皆さま方には、客観的なお立場から、熱心にご審議をいただき、今後のまちづくりについてのご提案など、貴重なご意見、ご助言をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日、いただきましたご意見等を基に、事後評価結果を取りまとめ、今後のまちづくりに反映させてまいりたいと考えております。

今後とも、本市のまちづくりについて、皆さま方のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

簡単ではございますが、お礼の挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

## 高橋書記

それでは、これをもちまして「第2回宇都宮市まちづくり交付金評価委員会」を閉会いたします。

皆様、誠にありがとうございました。